

佐久サムライ実行委員会「佐久サムライ第3話 いじめを斬る！」制作

取組に至る背景・事業の目的

- 平成 22 年に警察、市町村、関係団体等の協力を得て実行委員会を立ち上げ、「振り込め詐欺」「万引き」などの防止を視覚に訴えるための映画づくりを開始
- 今回、第3話として「いじめ」をテーマに取り上げ、参加者・出演者と一緒に映画を制作し普及することで防犯・非行防止・いじめ防止の意識醸成につなげていく。

事業内容

- 一般から参加者を募った上で、講習会・ワークショップを7回開催し、映画の制作工程を学ぶとともに、参加者のいじめに対する意見交換を行いながら脚本を検討
- 7月下旬から8月初めの8日間にわたり地元各地で撮影
- 9月～10月に編集・録音体験やワークショップを開催。いじめについてインタビューしたデータの編集も実施
- 11月23日に映画完成上映会を実施。あわせて参加児童・生徒の作文発表や観客との意見交換も行い「いじめのない社会」について取り組むことを誓った。



【撮影の様子】



【映画完成上映会でのテーマ曲合唱】

事業効果

- 撮影や上映会を通じて多くの参加があったほか、東信地域の小・中・高校にDVDを配布し、「いじめ」について考えてもらうことができた。(講習会・ワークショップ参加：延べ 167 名、撮影出演者数：106 名、上映会観客数：約 230 名、DVD配布学校数：136 校)
- 出演や撮影に協力していただいた佐久市高瀬小学校では児童会を開いて映画の鑑賞を行い、「いじめ」について考え、「いじめはしない」ことを全校で約束
- 佐久警察署でもイベント等で「佐久サムライ」のテーマ曲を活用するなど防犯に役立てられている。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 県内で防犯及び青少年育成活動を行っている信州プロレス代表のグレート☆無茶氏の出演・協力も得て幅広く呼びかけを行った。
- 佐久ケーブルテレビでも放送が開始され、一般家庭でも視聴できるようになった。
- 撮影ロケ地を探すことで、地元の魅力を再発見することにもつながっている。
- 今後は学校以外の公民館や施設、東信地区以外の学校などでの上映も働きかけていくほか、続編の制作にも取り組んでいきたい。

**【選定のポイント】**  
小学生から高校生、一般へ公募で出演者を募り、映画づくりについて学んだほか、いじめについても参加者が意見を出し合いながら脚本づくりが行われた。(ワークショップ等延べ参加者 167 名、撮影出演者 106 名) 上映会には約 230 名が訪れたほか、教育委員会、警察署等とも協働し、学校へのDVD配布、CATV等により広く普及が行われた。

団体名	佐久サムライ実行委員会 (佐久市)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0267-63-4500	事業費	4,390,392円
		支援金額	3,000,000円